

セキユトレ・セキユレジサービスの ISO/IEC 27017 に基づく セキュリティ要求事項への取り組み

第3版
2026年8月1日
株式会社ワークストラスト

はじめに

組織におけるクラウドサービスの利用において、セキュリティへの懸念は必ず取り上げられる問題の一つです。そのような状況の中、2015 年 12 月に、クラウドセキュリティの国際標準規格である ISO/IEC 27017:2015 が発行され、クラウドサービスの利用者と事業者が行うべきセキュリティ管理策が定義されました。本書では、株式会社ワークストラストが提供するセキユトレ、セキユレジサービス(以下、「本サービス」と表記)における ISO/IEC 27017(以下、「ISO27017」と表記)への取り組みを解説します。本書で 本サービスにおけるクラウドセキュリティの取り組みを知っていただき、本サービスをご活用いただくことで、今後ますますお客様の情報セキュリティ向上のお役に立ちたいと考えています。

サービス概要

本サービスは、お客様が e ラーニング、点検が行えるサービスです。

概要は <https://www.security-training.jp/> をご覧ください。

本サービスは、お客様からのお申込みに基づき役務提供しています。

サービスのご利用にあたっての操作方法等につきましては、お申込みいただきました管理者への個別メールにてご案内いたしております(以下、「個別メール」と表記)。

ISO27017 の概要

ISO27017 は、クラウドサービスに関する情報セキュリティ管理策のガイドライン規格です。情報セキュリティ全般に関するマネジメントシステム規格である ISO27001 の取り組みを ISO27017 で強化することで、クラウドサービスにも対応した情報セキュリティ管理体制を構築することができます。

ISO/IEC 27017	クラウドサービスのための情報セキュリティ管理策の実践と規範
+	
ISO/IEC 27001	情報セキュリティ全般に関するマネジメントシステム要求事項

ISO27017 に対する取り組み

1. 情報セキュリティのための方針群

情報セキュリティのための方針群

本サービスでは、弊社の情報セキュリティ及びプライバシー方針、クラウドセキュリティ方針に従い、セキュリティに関して極めて重要な事項として取り扱い、サービス運営を行います。弊社の方針は https://www.workstrust.com/company/policy_isms.html をご覧ください。

2. 情報セキュリティのための組織

2.1 情報セキュリティの役割および責任

サービスの運用は弊社の責任範囲としてサービスの提供範囲に含まれておりますが、受講者の登録、変更、削除管理はお客様の責任範囲となります。また、本サービスは、株式会社テクノカルチャーが提供している「学びばこ」を基に構築しており、システム基盤の仕様、運用は「学びばこ」に依存されるため、テクノカルチャー社による「学びばこ」の保守、点検、整備、改良、拡張作業、中断または、セキュリティ上のリスク、脅威が生じた場合、サービスに影響がある場合があります。

2.2 関係当局との連絡

弊社の本社所在地は、東京都千代田区富士見町 2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム 9 階となります。お問い合わせ窓口は個別メールに記載しています。なお、本サービスに保存された情報の所在は日本国内となります。

2.3 クラウドコンピューティング環境における役割及び責任の共有及び分担

個別メールにてサービス内容を明示し、サービス提供を実施しています。また、責任分界点の詳細は、“2.1 情報セキュリティの役割および責任”を参照ください。

3. 人的資源のセキュリティ

3.1 情報セキュリティの意識向上、教育及び訓練

弊社では情報セキュリティ方針

(https://www.workstrust.com/company/policy_isms.html)を定め、方針に従いサービスを運営しています。また、クラウドサービスカスタマデータ及びクラウドサービス派生データを取り扱う社員に対する定期的な教育を実施しています。

4. 資産の管理

4.1 資産目録

お客様の登録者および記録と弊社がサービスを運営する為の情報は、明確に分離しています。

4.2 クラウドサービスカスタマの資産の除去

お客様のサービス解約申し出があった場合、サービス解約の翌月末までに受講者および記録を消去します。なお、管理者情報については、本サービスの終息まで保持しております。

4.3 情報のラベル付け

お客様の登録者および記録は、お客様専用の管理画面にて閲覧およびダウンロードができます。

5. アクセス制御

5.1 利用者登録及びネットワークサービスへのアクセス

お客様の管理者の登録、変更、削除は弊社にて登録を供しています。受講者の登録、変更、削除はお客様専用の管理画面にて登録機能を提供しています。登録、変更、削除に必要な手順、情報は個別メールに記載しています。

5.2 利用者アクセスの提供

お客様専用の管理画面は、お申込み受理後に発行されたユーザーID 及び自身が設定したパスワードでアクセスができます。

5.3 特権的アクセス権の管理

お客様専用の管理画面は、ユーザーID 及び自身が設定したパスワードでアクセスができます。

5.4 利用者の秘密認証情報の管理

お客様専用の管理画面を利用される際のパスワード登録、変更、再発行方法につきましては、個別メールに記載しています。

5.5 情報へのアクセス制限

お客様専用のアクセス情報は、個別メールに記載しています。

5.6 特権的なユーティリティプログラムの使用

セキュリティ手順を回避し各種サービス機能以外の利用を可能とするユーティリティプログラムの提供は行っておりません。

5.7 仮想コンピューティング環境における分離

システム内のデータはお客様毎に論理的に分離し、制御しています。

5.8 仮想マシンの要塞化

サービスが稼働しているサーバーは、不要なポートは閉じ、不要なポートは閉じ、マルウェア対策、ログ取得を行っています。

6. 暗号

6.1 暗号による管理策の利用方針

登録者および記録のデータは SSL 暗号化通信によりサーバーまで伝送されています。

7. 物理的及び環境的セキュリティ

7.1 装置のセキュリティを保った処分又は再利用

設備を再利用、廃棄する際には適切なプロセスで、資源の削除や設備の破壊を実施しています。

8. 運用のセキュリティ

8.1 変更管理

システム変更及びアップデートを実施する際は、作業内容や予定日などの情報を管理者にメールで一斉通知、またはサービスサイト上で告知します。

8.2 容量・能力の管理

リソースの利用状況を管理し、安定的にサービスを提供できる仕組みを構築しています。

8.3 実務管理者の運用のセキュリティ

サービスの操作手順は、個別メールにてご案内しています。

8.4 情報のバックアップ

お客様専用の管理画面から受講者および記録がダウンロードできますが、定期的にバックアップする機能は付帯していません。

8.5 イベントログの取得

お客様の求めに応じて、ログを開示することができます。

8.6 クロックの同期

システムは NTP による時刻同期を行っており、日本時間(JST)で管理しています。本サービスで記録される時刻は、すべて時刻同期に基づいて記録しています。

8.6 クラウドサービスの監視

本サービスに障害が有る場合、その旨がアクセスした画面に表示されます。

8.7 技術的ぜい弱性の管理

本サービスに影響がある技術的ぜい弱性に関する情報は、管理者にメールで一斉通知、またはサービスサイト上で告知します。

9. 通信のセキュリティ

9.1 ネットワークの分離

お客様のアクセスできる領域はユーザーID 毎ユニーク(他と重複のない)なものとしており、他のお客様と論理的に分離しています。

10. システムの取得、開発及び保守

10.1 情報セキュリティ要求事項の分析及び仕様化

クラウドセキュリティ方針および個別メールに定めています。

10.2 情報セキュリティに配慮した開発のための方針

変更管理に関するプロセスを定めてサービス開発・運営を実施しています。変更管理プロセスでは、リスクアセスメントを実施した後、サービスのリリースをしています。

11. 供給者関係

11.1 供給者との合意におけるセキュリティの取扱い

本サービスはクラウドサービスとなり、責任分界点は、“2.1 情報セキュリティの役割および責任”を参照ください。また情報セキュリティ対策も“2.1 情報セキュリティの役割および責任”の範囲において必要なセキュリティ対策を実施しています。

11.2 ICT サプライチェーン

本サービスは、株式会社テクノカルチャーが提供している「学びばこ」を基に構築しています。株式会社テクノカルチャーは、情報セキュリティの取り組みとして ISMS を取得していることから、一定のリスク管理、対策を実施していると思われます。(2023 年 4 月時点)

12. 情報セキュリティインシデント管理

12.1 責任及び手順

登録者および記録やお客様に影響のある操作に関する情報セキュリティインシデントが発生した場合には、お客様専用の管理画面やメールにて速やかに報告します。

12.2 情報セキュリティ事象の報告

情報セキュリティ事故が発生した場合には、管理者にメールで一斉通知、またはサービスサイト上で告知します。また、お客様からの事象報告はお問い合わせ窓口にて受け付けています。

13. 順守

13.1 適用法令及び契約上の要求事項の特定

本サービスのサービス設備は日本国内に設置しています。本サービスをご利用にあたり、当社と契約者の間で訴訟の必要が生じた場合、東京簡易裁判所または東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所となります。

13.2 知的財産権

苦情の受付窓口(問い合わせ窓口)はお客様への個別メールに記載しています。

13.3 記録の保護

お客様専用の管理画面からダウンロード可能な記録は、利用期限又は解除されるまで保管しています。

13.4 暗号化機能に対する規制

お客様専用の管理画面および受講画面では SSL/TLS の暗号化を使用しています。なお、輸出規制の対象となる暗号化の利用はありません。

13.5 情報セキュリティの独立したレビュー

組織的な取り組みとして、弊社では ISMS とプライバシーマークを取得しており、認証機関からの審査を受審しております。

改訂履歴

版数	制定/改定日	改定箇所、改訂理由	備考
1	2021/10/1	初版制定	
2	2023/4/1	プラットフォーム変更に従う修正	
3	2026/8/1	本社移転に伴い住所を修正	